

■EU：欧州委員会、卸電力価格の上限規制と小売の規制料金の廃止提案へ

2016年11月10日の報道によると、欧州委員会は同月末に発表する予定の通称「ウィンター・パッケージ」の中で卸電力価格の上限規制と小売の規制料金の廃止を提案する予定である。欧州委でEUのエネルギー統一市場を所管するボルヒャルト部長は同月9日にブリュッセルで開かれた会議の席上で「我々はエネルギー・オンリー・マーケット（電力量を取り引きする従来の卸電力市場）にチャンスを与えることにした。価格は国家による介入で決まるのではなく、市場で形成されようになる」と語った。同氏は「容量メカニズムも卸電力価格を押し下げる効果を持つので、欧州委はウィンター・パッケージで容量メカニズムに係る法的枠組みを提案する予定である」と語った。また、同委は小売の規制料金の廃止も提案する見込みである。11月9日に発表された欧州エネルギー規制者協力機関(ACER)と欧州エネルギー規制者評議会(CEER)による2015年の年次報告書によると、規制料金は同年現在、家庭用で12カ国、産業用で9カ国の加盟国で維持されている。ウィンター・パッケージには、1) エネルギー効率化指令の改正、2) 再エネ指令の改正、3) 域内電力市場指令の改正、4) クロスボーダー電力取引規則の改正、5) ACER 設立規則の改正、6) バイオ燃料指令の改正、7) 全EUエネルギー価格のガバナンスに係る規則(新規)、8) 電力供給セキュリティ規則(新規)、の8つの法令が含まれる見込みである。これらの発表時期は2016年11月30日と見込まれるが、場合によっては次週に持ち越される可能性もある。